

令和3（2021）年度 和歌山県人権啓発ポスターコンテスト

最優秀作品・優秀作品

☎（公財）和歌山県人権啓発センター ☎435-5420



最優秀作品

市立和歌山高等学校
吉松 月菜 さん



優秀作品

市立和歌山高等学校
栲見 風香 さん



優秀作品

市立和歌山高等学校
村上 日向夏 さん

こころの詩 2021 受賞作品 (公財) 和歌山県人権啓発センター

知事賞

一般（高校生）の部

和歌山市 岡田 雅子さん

「おー、息子よー！」
君、すごいね。
ヒョロヒョロで、からかわれたのが悔しくて
筋トレ始めたら、
今やムツキムキ半障がい者。
君、かっこいいね。
付けるの恥ずかしいって隠してたヘルプマーク、
今やカバンのワンポイントにしている
おしゃれ障がい者。
君、面白いね。
ロボットみたいに生真面目だったのが、
今やちょいちょい手抜きする、
ちゃっかり障がい者。
突拍子もない行動に驚きの連続だけど
クスッと笑わせてくれる。
君は障がい者ならぬ笑が良い者かもね。
それでいいよ、その調子！

理事長賞

一般（高校生）の部

市立和歌山高等学校

玉置 詞望さん

「ふとしたときの」
「女だから運転が遅い」
前を走る車を見ながら
祖父はふとこう言った。
買物をしていてるとき
テレビを見ていてるとき
人と会話をしているとき
ふとしたときの考えや言葉で
私たちは自ら
人が自由に生きること否定する
ぱっと出た思い
ぱっと出た言葉
そこに明るいものが含まれるようになったら